



# 第30期（2014年12月期） 決算補足説明資料

2015年2月5日

サイバネットシステム株式会社

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**

## 略式記号について

13.12	2013年 12 月期 通期
14.12/1H	2014年 12 月期 第2四半期累計期間
14.12/4Q	2014年 12 月期 第4四半期期間
14.12	2014年 12 月期 通期
15.12E/1H	2015年 12 月期 第2四半期累計期間予想
15.12E	2015年 12 月期 通期予想
調整後13.12/4Q	2013年 12 月期を12ヶ月に調整した第4四半期期間
調整後13.12	2013年 12 月期を12ヶ月に調整した通期

※ 「調整後13.12」については7ページに注記しております。

※ 当社は2013年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、前連結会計年度は、2013年4月1日から2013年12月31日までの9ヶ月間となっております。

## ◆ 2014年12月期 決算の概況

[連結]業績の概況	8
[連結]経常利益の増減要因(調整後前年同期比較)	9
[連結]経常利益の増減要因(計画比較)	10
[連結]貸借対照表	11
[連結]キャッシュ・フロー計算書	12
[連結]四半期売上高の推移	13
[連結]事業別売上高の増減要因(調整後前年同期比較)	14
[連結]事業別売上高の構成比	15
[連結]事業別経常利益の増減要因(調整後前年同期比較)	16
[個別]ソリューション別の概況	17
[個別]応用分野別売上高	19
[個別]業種別売上高	20
[個別]ライセンス契約別売上高	21
海外子会社の状況	22
[連結]当期の配当の状況	24

## ◆ 中期経営計画及び2015年12月期 業績予想

前中期経営計画	26
新中期経営計画	28
[連結]来期の業績予想	32
[連結]来期の配当予想	33

## ◆ 参考資料

個別業績及び予想等を記載しております

# 2014年12月期 決算の概況

2013年度より決算期を3月から12月に変更しております

経過期間となる2013年度決算連結対象

- 3月決算のサイバネットシステム（個別） : 2013年4月～12月
- 12月決算の海外子会社 : 2013年1月～12月

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**

# 連結範囲の変更について

CYBERNET

当期より、海外販売子会社のCYBERNET SYSTEMS KOREA CO.,LTD.を連結子会社としております。

正式社名	: 사이버넷시스템즈코리아(주) (サイバネットシステム코리아株式会社)
本社所在地	: 大韓民国 ソウル特別市
設立年月	: 2012年3月
代表者	: CEO & President 古井 佐土志
従業員	: 5名(2014年12月31日現在)
事業内容	: CAEソフトウェアの販売、技術サポート及び 受託解析・コンサルティング等のエンジニアリング サービスの提供
主力製品	: 制御系システム (MapleSim) 、数式処理システム (Maple)

※他の連結子会社につきましては、35ページをご参照ください。

# 連結範囲の変更について

CYBERNET

当期より、海外販売子会社のCYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO.,LTD.を連結子会社としております。

正式社名	: 思渤科技股份有限公司 (サイバネットシステム台湾株式会社)
本社所在地	: 台湾 新竹市
設立年月	: 2008年7月
代表者	: 董事長 三平 久悦 総経理 Arnie Cheng
従業員	: 25名(2014年12月31日現在)
事業内容	: 光学系、電気・電子系を中心に制御系、数式処理系等のCAEソリューションサービスを展開
主力製品	: 光学系ソフトウェア、制御系システム (MapleSim)、他

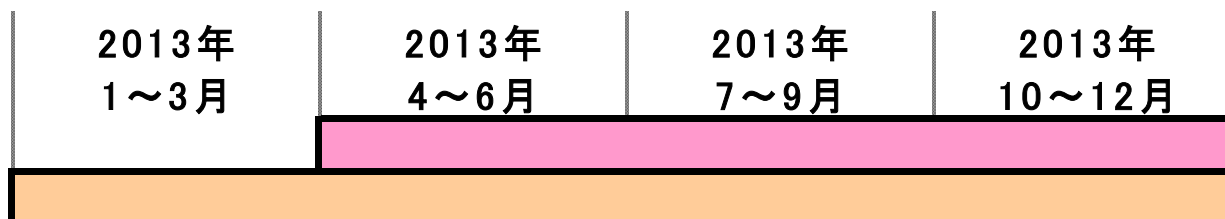
※他の連結子会社につきましては、35ページをご参照ください。

# 決算期(事業年度の末日)の変更について

◆ 本資料内の**調整後13.12**とは、2014年度通期業績に対して、同じ条件で比較を行うため、比較対象期間を同じ期間に置き換えて算出した数値となります。

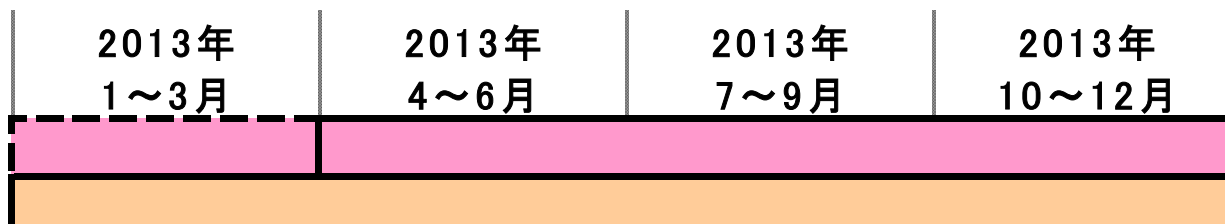
## ■ 13.12(2013年12月期)

サイバネットシステム(個別)  
海外連結対象子会社



## ■ 調整後13.12

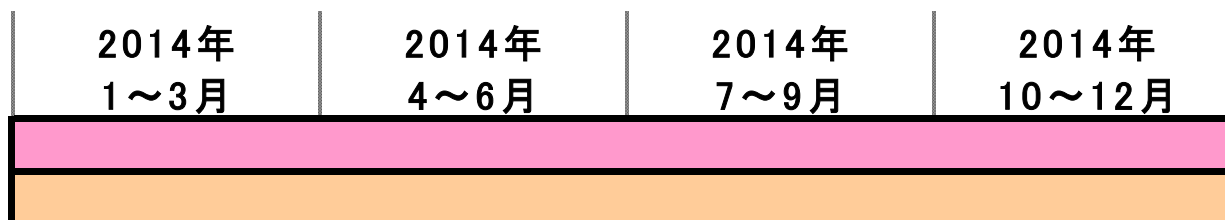
サイバネットシステム(個別)  
海外連結対象子会社



比較対象期間が同じ

## ■ 14.12(2014年12月期)

サイバネットシステム(個別)  
海外連結対象子会社



# [連結]業績の概況

CYBERNET

(単位:百万円)

	14.12	2013年1月～12月		調整後13.12			14.12		
	実績	実績	前同差	実績	前同差	前同比	計画	計画差	計画比
売上高	15,396	15,388	+ 8	14,732	+ 663	104.5%	16,000	▲ 603	96.2%
売上総利益	6,806	7,007	▲ 200	6,667	+ 139	102.1%	7,152	▲ 345	95.2%
営業利益	810	845	▲ 34	785	+ 25	103.2%	1,000	▲ 189	81.1%
営業利益率	5.3%	5.5%	▲ 0.2P	5.3%	+ 0.0P		6.3%	▲ 1.0P	
経常利益	974	1,104	▲ 129	1,031	▲ 57	94.5%	1,100	▲ 125	88.6%
経常利益率	6.3%	7.2%	▲ 0.9P	7.0%	▲ 0.7P		6.9%	▲ 0.6P	
当期純利益	596	625	▲ 28	541	+ 55	110.2%	600	▲ 3	99.4%
当期純利益率	3.9%	4.1%	▲ 0.2P	3.7%	+ 0.2P		3.8%	+ 0.1P	

※P:ポイント

※季節要因を考慮するために、2013年1月～12月の開示数値を記載しております。

「2013年1月～12月」実績は、3月決算であったサイバネットシステムは2013年1月～12月、12月決算の海外子会社は2012年10月～2013年12月を連結対象期間とした数値となります。

※調整後13.12は、比較対象期間を合わせるため、海外子会社の対象期間を2013年1月～12月に調整した数値となります。(前頁参照)

## ◆ 業績の概況

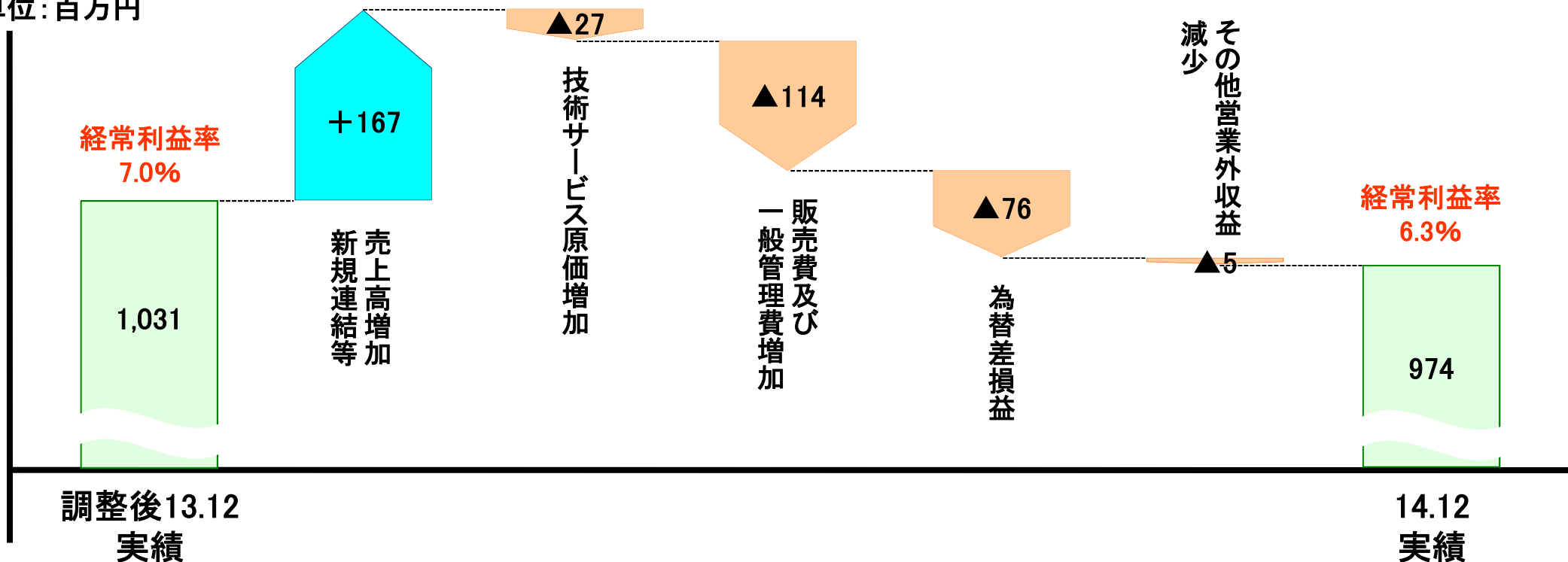
調整後13.12と比較すると、14.12の業績については、国内においては、主力の構造解析系ソフトウェアが機械製造業界を中心として好調に推移し、可視化系分野が教育機関から新規大型案件を受注したことに加え、自動車業界に対するエンジニアリングサービスが好調に推移いたしました。海外においては、北米の開発子会社が大型案件を受注し、好調に推移いたしました。また、当期より韓国子会社及び台湾子会社を連結対象としたこともあり、売上高は前年同期を上回っております。利益面では、営業利益は、売上高の増加により前年同期を上回ったものの、経常利益は、為替差益の減少により前年同期を下回りました。



# [連結] 経常利益の増減要因(調整後前年同期比較)

CYBERNET

単位: 百万円



## ◆ 前期比増減要因

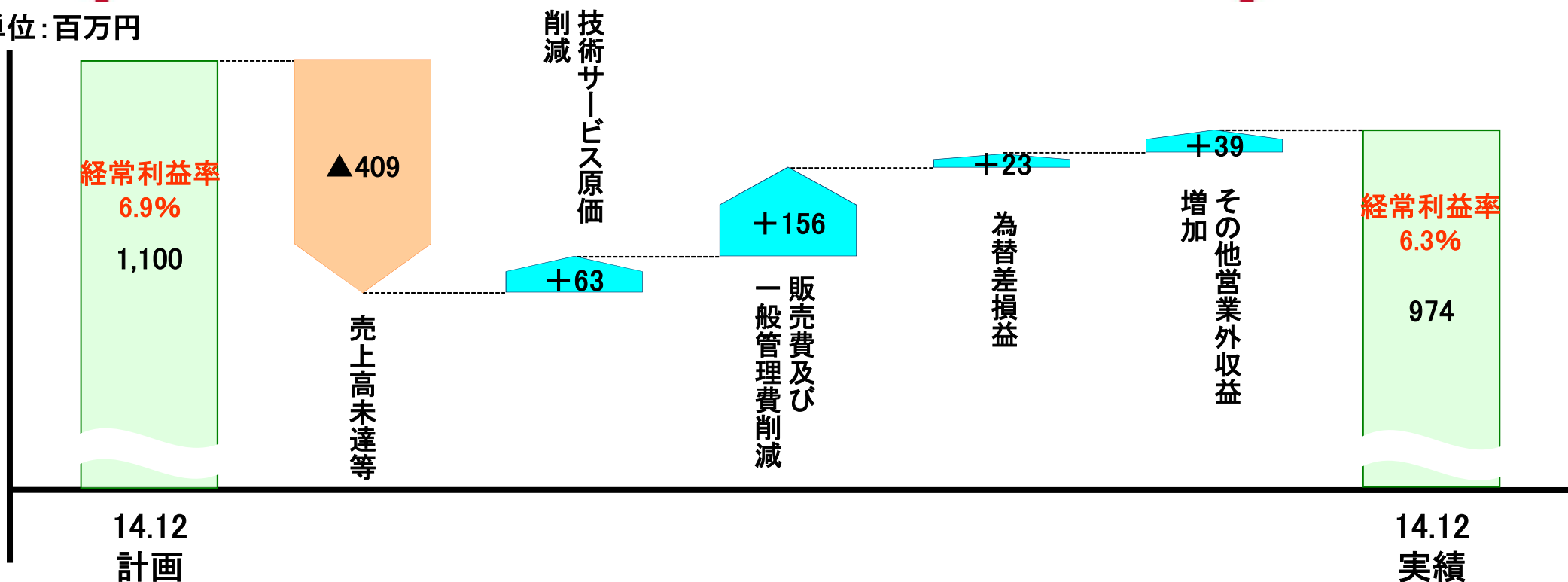
商品利益は、商品原価率の上昇があったものの、主力の構造解析系ソフトウェアが機械製造業界を中心として好調に推移したこと及び北米の開発子会社が大型案件を受注し好調に推移したこと等により前同差167百万円の増益となっております。

営業利益は、新規連結対象とした子会社の経費算入及び円安による為替換算の影響等により費用が増加いたしました。売上高の増加により前同差25百万円の増益となっております。

経常利益は、為替差益の減少等により、前同差57百万円の減益となっております。

# [連結] 経常利益の増減要因(計画比較)

単位: 百万円



## ◆ 計画比増減要因

商品利益は、北米の海外子会社が大型案件を受注したこと及び新規連結した子会社による増加要因がありましたが、商品原価率の上昇や単体、欧州の開発子会社及び中国の販売子会社が売上未達となったことにより、計画に対して409百万円の減益となっております。

営業利益は、円安による為替換算に伴う経費の増加及び新規連結対象とした子会社の経費算入がありましたが、グループ全体として人件費等経費削減を行ったことにより、計画に対して189百万円の減益となっております。

経常利益は、為替差益や助成金収入等があり、計画に対して125百万円の減益となっております。

# [連結]貸借対照表

CYBERNET

(単位:百万円)

	13.12	14.12	前期末差
<b>流動資産</b>	<b>14,049</b>	<b>14,503</b>	<b>453</b>
現金及び預金	4,040	3,343	▲ 696 ①
受取手形及び売掛金	3,225	3,520	295
有価証券	2,302	3,010	707 ②
短期貸付金	3,081	3,020	▲ 60
その他	1,400	1,608	207
<b>固定資産</b>	<b>5,007</b>	<b>5,362</b>	<b>355</b>
有形固定資産	332	339	6
無形固定資産	3,617	3,466	▲ 151 ③
投資その他の資産	1,057	1,556	499 ②
<b>資産合計</b>	<b>19,056</b>	<b>19,865</b>	<b>809</b>
<b>流動負債</b>	<b>4,397</b>	<b>4,733</b>	<b>336</b>
買掛金	971	1,029	58
未払費用	926	428	▲ 497
前受金	1,891	2,034	143
賞与引当金	298	447	149
その他	309	792	483
<b>固定負債</b>	<b>834</b>	<b>913</b>	<b>79</b>
退職給付に係る負債	802	845	42
その他	31	68	36
<b>負債合計</b>	<b>5,231</b>	<b>5,647</b>	<b>415</b>
<b>純資産合計</b>	<b>13,825</b>	<b>14,218</b>	<b>393 ④</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>19,056</b>	<b>19,865</b>	<b>809</b>

## ◆ 主な増減要因

- ①現金及び預金（前期末差 ▲696百万円）  
資金運用のための社債等純購入額▲1,016百万円により減少しております。
- ②有価証券（前期末差 707百万円）  
投資その他の資産（前期末差 499百万円）  
社債等の新規購入1,500百万円、1年超社債の  
新規購入1,809百万円、海外子会社長期定期預金  
207百万円、債券の償還▲2,293万円及び  
長期から短期への振替1,520百万円により増加  
しております。
- ③のれん（前期末差 ▲226百万円）  
償却▲368百万円及び為替換算143百万円により  
減少しております。
- ④純資産合計（前期末差 393百万円）  
剰余金の配当▲336百万円があったものの、  
当期純利益596百万円により増加しております。

# [連結]キャッシュ・フロー計算書

CYBERNET

(単位:百万円)

	14.12
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,101
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 747
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 337
現金及び現金同等物に係る換算差額	46
現金及び現金同等物の増減額	62
現金及び現金同等物の期首残高	4,042
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	135
現金及び現金同等物の期末残高	4,239

## ◆ 主な増減要因

- 営業活動によるキャッシュ・フロー  
債権債務の増減等ありますが、主に税金等調整前利益の増加によりプラスとなっております。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー  
主に資金運用のための投資有価証券の取得と定期預金の預入による支出によりマイナスとなっております。
- 財務活動によるキャッシュ・フロー  
主に配当金の支払額によりマイナスとなっております。

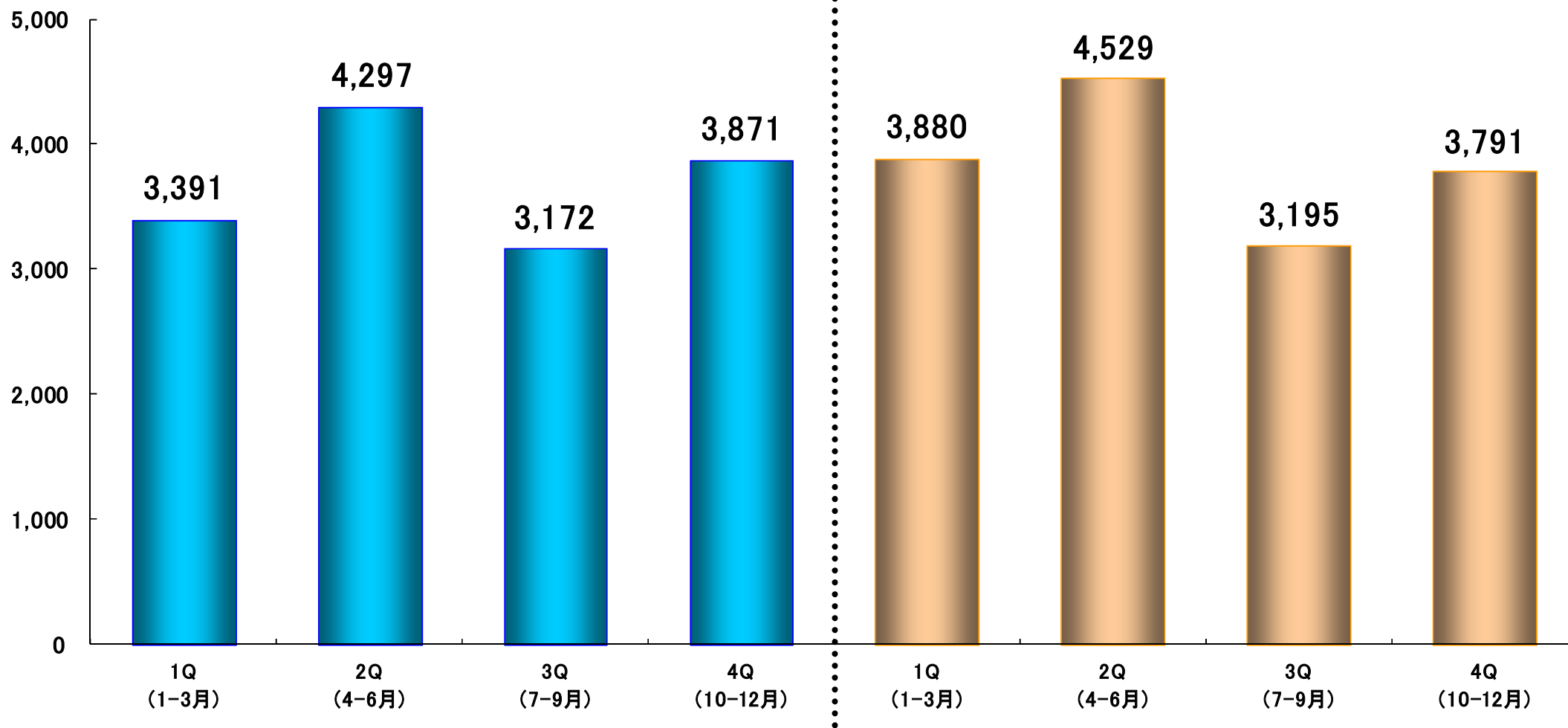
# [連結]四半期売上高の推移

CYBERNET

調整後13.12

14.12

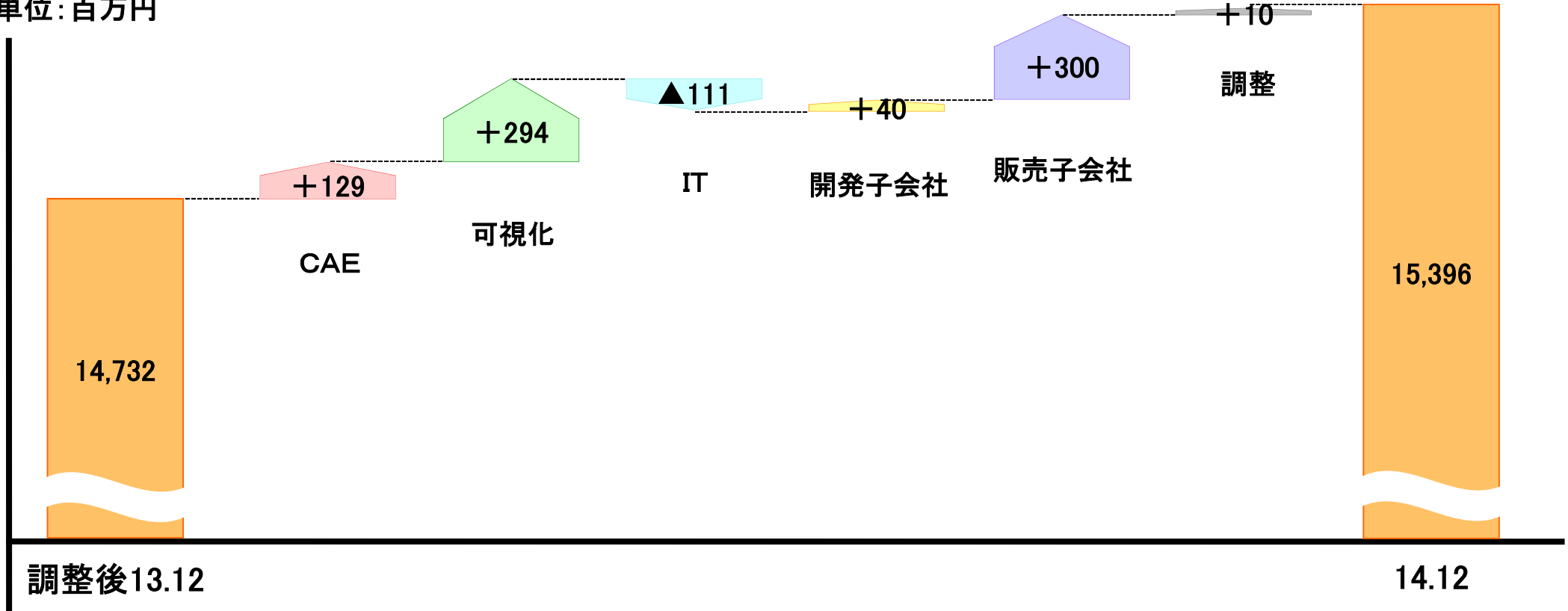
単位:百万円



# [連結]事業別売上高の増減要因(調整後前年同期比較)

CYBERNET

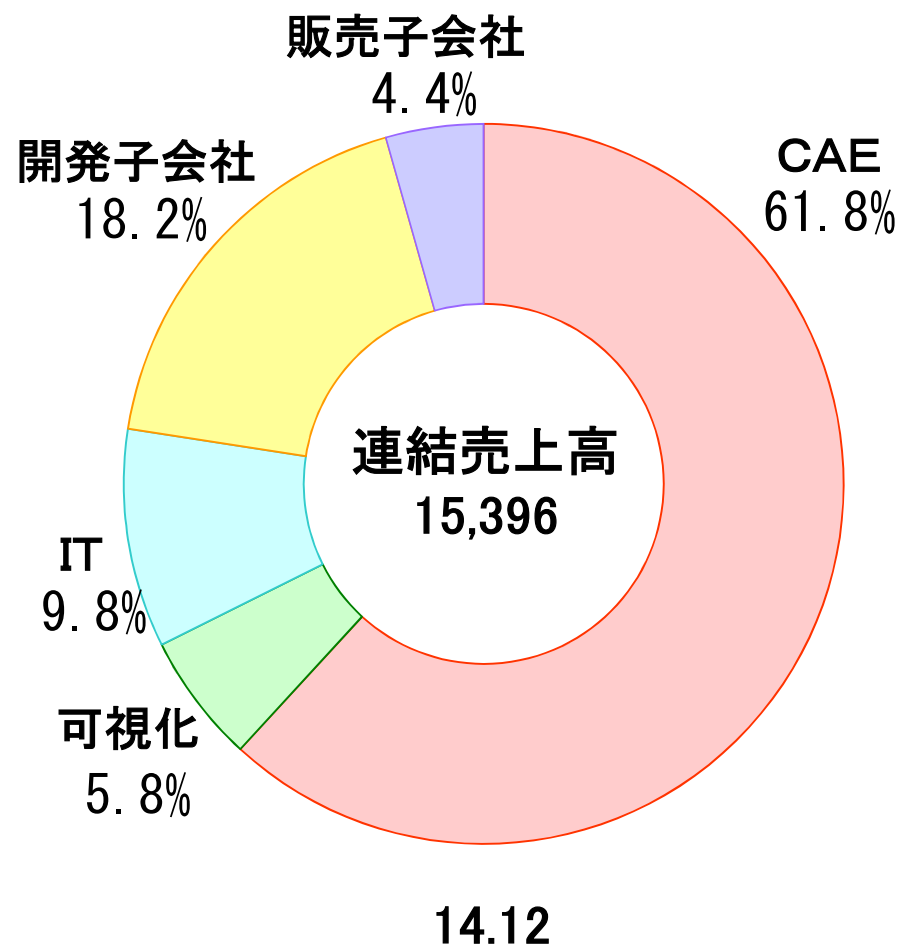
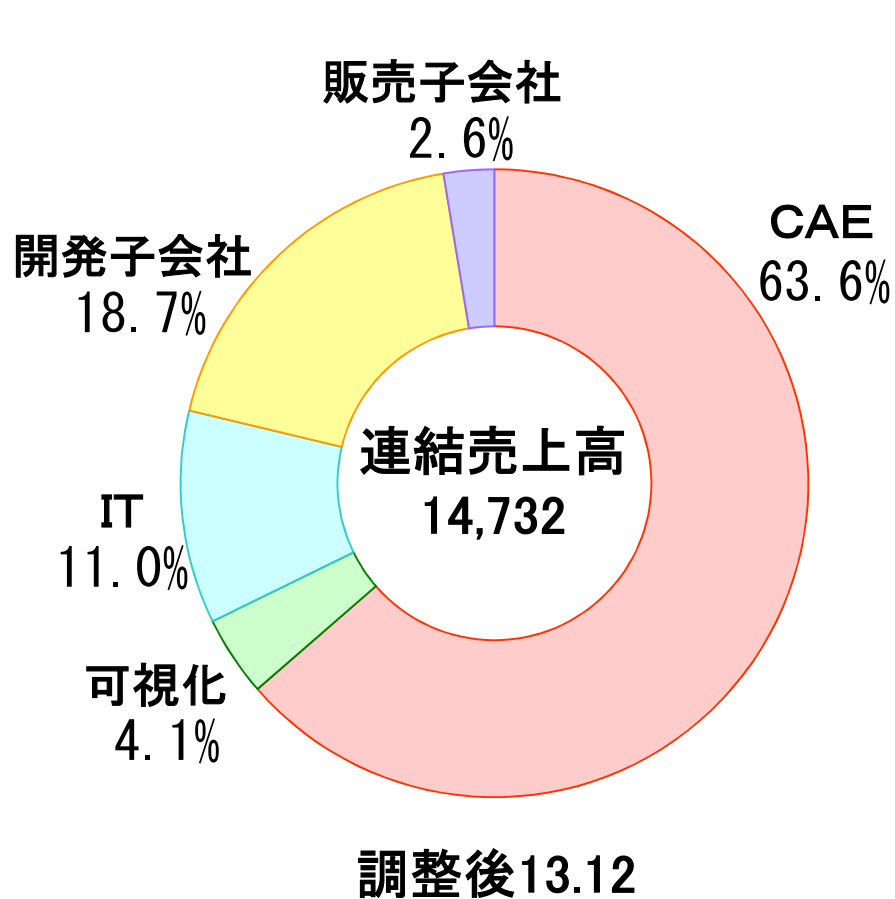
単位:百万円



注) 上記数値は、調整後の前年同期売上高に対する事業別の増減額となります。また、各事業の分類は以下となります。

- ・ CAEとは、個別におけるCAEソリューションサービス事業となります。(可視化系分野除く)
- ・ 可視化とは、個別における可視化系分野となります。
- ・ ITとは、個別におけるITソリューションサービス事業となります。
- ・ 開発・販売子会社とは、連結対象の欧米の開発子会社3社の合計数値となります。
- ・ 販売子会社とは、連結対象のアジア販売子会社3社の合計数値となります。
- ・ 調整とは、連結調整となります。

# [連結]事業別売上高の構成比

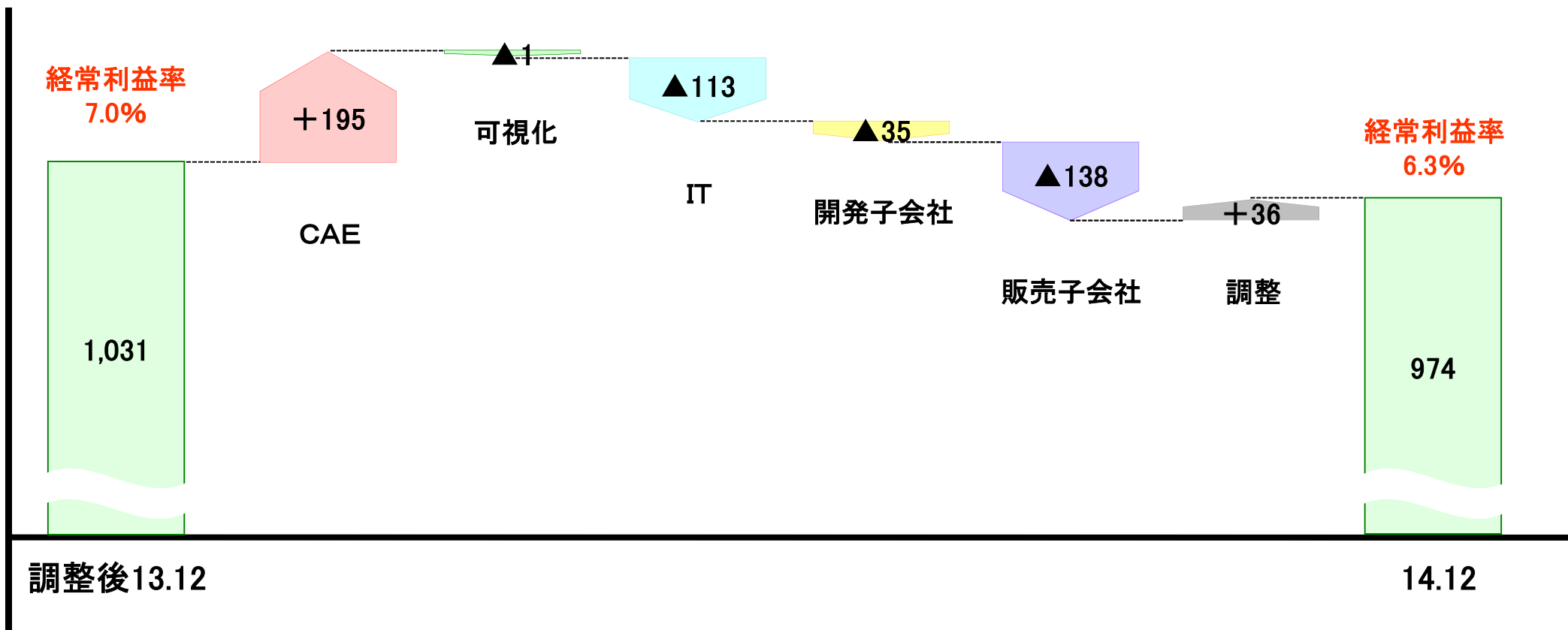


注) 上記数値は、連結調整を除いた構成比です。  
各事業の分類は前ページと同様となります。

# [連結]事業別経常利益の増減要因(調整後前年同期比較)

CYBERNET

単位:百万円



注) 上記数値は、調整後の前期経常利益に対する事業別の増減額となります。  
各事業の分類は前ページと同様となります。



# [個別]ソリューション別の概況

## CAEソリューションサービス

<p>機 械 系</p>	<p>構造解析系ソフトウェアは、多くの企業が車載へシフトしていることや案件の大型化もあり、機械製造や化学など製造業の幅広い業種において新規ライセンス販売が好調に推移。保守契約の更新も自動車業界を中心に堅調な推移。 エンジニアリングサービスは、大手建設業者から大型案件を受注するなど好調に推移。</p>
<p>光 学 ・ 照 明 系</p>	<p>照明設計解析ソフトウェアは、電機業界や自動車業界での採用が広がり新規ライセンス販売が好調に推移。光学設計解析ソフトウェアは、デジカメ・交換カメラの市場の縮小等より、新規ライセンス販売が低調に推移。フォトンクスデバイスソフトウェアは、ライセンス切替えや現状機能での充足感により新規ライセンス販売、保守契約の更新が低調に推移。 光学測定機器ビジネスの入れ替えに伴い、売上高は減少推移。</p>
<p>エレクトロニクス系</p>	<p>当第3四半期から新たに開始した電子回路基板設計ソリューションは、大型契約の受注がありましたが、新規ライセンス販売については立ち上げ段階のため低調に推移。 PCB(プリント基板)分野のエンジニアリングサービスは、新規開発案件の開拓が進まず、電機業界を中心に低調に推移。</p>
<p>数 値 ・ 制 御 系</p>	<p>システムレベルモデリング &amp; シミュレーション環境は、自動車業界を中心としたモデルベース開発環境構築の流れにより、新規ライセンス販売、保守契約の更新が好調に推移。 エンジニアリングサービスは、大手自動車メーカーを中心にモデルベース開発環境構築の需要が高く、特にシステム環境構築やモデリング技術構築に関するサービスビジネスが好調に推移。</p>

# [個別]ソリューション別の概況

## CAEソリューションサービス

新規及びその他

3次元モデラーは、従来のCAE用ダイレクトモデラー用途に加え、3Dプリンターや3Dスキャナー用途の需要により、新規ライセンス販売、保守契約の更新が好調に推移。  
公差解析ツールは、自動車業界や電機業界などで設計品質を向上させた製造コスト削減の目的で、設計プロセスにおける導入の機運が高まっており、新規ライセンス販売、保守契約の更新が好調に推移。  
最適設計支援ツールは、マルチドメインソリューションが弱含んだ影響もあり、新規ライセンス販売が低調に推移。  
イノベーション支援ソフトウェアは、新規の大型案件が少なかったものの保守契約の更新が好調に推移。

可視化系

大規模可視化装置及びシステム導入の大型案件により、好調に推移。  
AR (Augmented Reality: 拡張現実) ビジネスは、スマートフォンの普及率向上を背景に新規ライセンス販売が好調に推移。

## ITソリューションサービス

セキュリティ関連ソリューションは、クラウド関連のセキュリティ強化の需要拡大などにより新規ライセンス販売が好調に推移。  
ディスク暗号化ソフトウェアは、Windows XPのサポート終了に関連した端末入れ替え商談が一段落し、新規ライセンス販売は横ばいとなりましたが、保守契約の更新が好調に推移。  
前期に売却したスケジューリングソフトウェアの売上減少の影響があり、売上高は減少推移。

# [個別]応用分野別売上高

CYBERNET

<第4四半期>

(単位:百万円)

	調整後13.12/4Q		14.12/4Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
機械系	1,022	39.8%	1,146	43.2%	+ 123	112.1%
光学・照明系	355	13.8%	390	14.7%	+ 35	109.9%
エレクトロニクス系	250	9.7%	193	7.3%	▲ 56	77.3%
数値・制御系	124	4.9%	219	8.3%	+ 94	175.6%
新規及びその他	157	6.1%	155	5.9%	▲ 1	99.0%
可視化系	159	6.2%	116	4.4%	▲ 42	73.2%
ITソリューション	501	19.5%	432	16.3%	▲ 69	86.2%
合計	2,571	100.0%	2,654	100.0%	+ 82	103.2%

<通期>

(単位:百万円)

	調整後13.12		14.12			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
機械系	4,887	40.8%	5,144	41.8%	+ 256	105.3%
光学・照明系	2,661	22.2%	2,541	20.7%	▲ 119	95.5%
エレクトロニクス系	1,085	9.1%	902	7.3%	▲ 182	83.2%
数値・制御系	452	3.8%	611	5.0%	+ 158	135.0%
新規及びその他	629	5.3%	656	5.3%	+ 27	104.4%
可視化系	596	5.0%	880	7.2%	+ 283	147.6%
ITソリューション	1,668	13.9%	1,557	12.7%	▲ 111	93.3%
合計	11,981	100.0%	12,294	100.0%	+ 312	102.6%

# [個別]業種別売上高

CYBERNET

<第4四半期>

(単位:百万円)

	調整後13.12/4Q		14.12/4Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	749	29.1%	938	35.4%	+ 189	125.2%
機械・精密機器	447	17.4%	370	14.0%	▲ 76	83.0%
輸送用機器	304	11.8%	395	14.9%	+ 90	129.8%
その他製造業	254	9.9%	279	10.5%	+ 25	110.2%
教育・官公庁	205	8.0%	218	8.2%	+ 12	106.3%
情報・通信	195	7.6%	136	5.1%	▲ 59	69.7%
その他	415	16.2%	315	11.9%	▲ 100	75.8%
合計	2,571	100.0%	2,654	100.0%	+ 82	103.2%

<通期>

(単位:百万円)

	調整後13.12		14.12			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	4,280	35.7%	4,223	34.4%	▲ 57	98.7%
機械・精密機器	1,819	15.2%	1,864	15.2%	+ 44	102.5%
輸送用機器	1,271	10.6%	1,512	12.3%	+ 241	119.0%
その他製造業	1,308	10.9%	1,312	10.7%	+ 4	100.3%
教育・官公庁	1,222	10.2%	1,463	11.9%	+ 241	119.8%
情報・通信	720	6.0%	557	4.5%	▲ 162	77.4%
その他	1,359	11.3%	1,358	11.1%	0	99.9%
合計	11,981	100.0%	12,294	100.0%	+ 312	102.6%

# [個別]ライセンス契約別売上高

CYBERNET

## <第4四半期>

(単位:百万円)

	調整後13.12/4Q		14.12/4Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	1,034	45.6%	1,171	51.0%	+ 136	113.2%
更新契約	1,232	54.4%	1,125	49.0%	▲ 106	91.3%
合計	2,266	100.0%	2,296	100.0%	+ 29	101.3%

## <通期>

(単位:百万円)

	調整後13.12		14.12			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	4,219	39.3%	4,406	40.5%	+ 186	104.4%
更新契約	6,523	60.7%	6,465	59.5%	▲ 57	99.1%
合計	10,743	100.0%	10,872	100.0%	+ 129	101.2%

注) 上記数値は、ライセンス契約形態をとるソフトウェア・ハードウェア・サービス売上高のみを対象としております。

# 海外子会社の状況(開発子会社)

開発子会社	WATERLOO MAPLE INC.	Noesis Solutions NV	Sigmatix, L.L.C.
	カナダ	ベルギー	米国
売上前年比 (現地通貨ベース)	84.3%	87.7%	173.9%
売上前年比 (円ベース)	85.7%	96.7%	189.4%
状況	昨年度の大型商談を除き売上が堅調に推移し、特にシステムレベルモデリング&シミュレーション環境の売上がアジア地域で伸長したほか、欧州地域の直販体制効果により順調に推移いたしました。	最適設計支援ツールの販売がアジア地域で低調に推移したほか、北米地域で計画通り進捗いたしませんでした。	3次元公差解析マネジメントツール及び幾何公差設計ツールが北米地域における大型商談の受注や保守販売が好調に推移し、北米及びアジア地域で伸長いたしました。

# 海外子会社の状況(販売子会社)

CYBERNET

販売子会社	CYBERNET SYSTEMS (SHANGHAI) CO.,LTD.	CYBERNET SYSTEMS KOREA CO.,LTD.	CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO.,LTD.
	中国	韓国	台湾
売上前年比 (現地通貨ベース)	78.2%	当期より連結対象	当期より連結対象
売上前年比 (円ベース)	85.2%		
状況	前期より販売開始した当社開発の光学測定器ビジネスの立ち上がりが遅れており、低調に推移いたしました。	韓国大手企業向けに、システムレベルモデリング&シミュレーション環境及び数式処理ソフトウェアの販売ビジネスに引き続き注力してまいりましたが、早期立ち上げには至りませんでした。	台湾において代理店ビジネスを展開しており、特に照明設計解析ソフトウェアが順調に推移いたしました。

# [連結]当期の配当の状況

CYBERNET

(単位:円)

	13.12	14.12		
	合計	第2四半期末	期末	合計
1株当たり配当額	10.40	5.60	8.20	13.80
（普通配当）	10.40	5.60	5.60	11.20
（記念配当）	—	—	2.60	2.60
1株当たり当期純利益	10.78	11.59	—	19.14
配当性向	96.5%	—	—	72.1%
(参考)純資産配当率	2.4%	—	—	3.1%

当社は、2013年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、上記の13.12（2013年12月期）の数値は、2013年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり配当額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

当社は、2015年4月17日をもちまして創立30周年を迎えます。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位の長年にわたるご支援、ご厚情の賜物と心から厚く御礼申し上げます。

つきましては、株主の皆様へ感謝の意を表するため、2014年12月期の期末配当において、1株当たり2円60銭の記念配当を実施することといたしました。

従いまして、14.12の配当については、普通配当11円20銭（中間5円60銭、期末5円60銭）に加え、創立30周年記念配当2円60銭が含まれております。



# 中期経営計画及び2015年12月期 業績予想

## 2012年度～2014年度 前中期経営計画 基本戦略

- a) 新しい価値を持つ当社独自のソリューションの開発と提供
- b) システムレベル・シミュレーション(1Dシミュレーション)市場の創造と拡大
- c) 顧客との深いコミュニケーション機会の創出により、多様なニーズの把握とその対応強化
- d) 当社グループ製品およびソリューションの海外展開の加速化

連結経常利益率目標値： 8%

2014年度 連結経常利益率 結果： 6.3%

## Review

コ・シミュレーション、モデル縮退など次世代のビジネスシーズの開拓ならびに見込み客への提案を実施いたしましたが、市場への浸透が希薄でした。

大手自動車会社を中心に、エンジニアリングサービスを軸にしたモデルベース開発(MBD)のビジネスが確実に拡大しておりますが、人員の確保が課題となっております。

製品別ではなく、アカウント別営業スタイルで主に自動車業界に注力しソリューション営業を展開しております。

海外開発子会社は、パートナーとの大口契約を締結し、連結売上高・利益に大きく貢献しております。しかし、アジア地区、北米地区でのビジネス展開に課題が残っております。

新中期経営計画  
2015年-2020年(3年×2)  
前期:2015年-2017年  
後期:2018年-2020年

**First Contact Company**として相応しい会社  
となるために、我々は

➤ ***Solution Integrator***

を目指します。

基本戦略に基づき\*SI (**Solution Integrator**)  
としてお客様にとって最適なソリューションを  
提供していきます。

\* 「SI」それは、お客様の悩み、課題を多面的に捉え、包括的にかつ長期にわたってソリューションを提供することを当社では定義しています。

目標値(2017)

連結営業利益率： 8% 超

目標値(2020)

連結売上高： 300億円 超

連結営業利益率： 10% 超

6年で2014年売上高の約2倍

## ➤サイバネットシステム独自の価値の提供

- ★ 1D\_CAE + 3D\_CAE マルチドメインソリューション (※1)
- ★ CAE + Test & Measurementの  
拡大マルチドメインソリューション (※2)

※1 1D\_CAEと3D\_CAE連携によるマルチドメインソリューションのこと。

※2 CAEと実験の融合のこと。

## ➤自動車関連分野に注力

- ★ 国内売上 (占有率)  
[2014年] 15億円 (12.3%) ⇒ [2017] 34億円以上 (20%)

## ➤パートナーとの連携の強化

- ★ グローバル&ローカルに販売/サポート体制構築
- ★ OEMの推進

# [連結]来期の業績予想

CYBERNET

(単位:百万円)

	第2四半期累計期間				通期			
	15.12E/1H	14.12/1H			15.12E	14.12		
	計画	実績	前同差	前同比	計画	実績	前同差	前同比
売上高	8,816	8,409	+406	104.8%	16,732	15,396	+1,335	108.7%
売上総利益	3,790	3,589	+200	105.6%	7,388	6,806	+581	108.5%
売上総利益率	43.0%	42.7%	+0.3P		44.2%	44.2%	+0.0P	
営業利益	553	664	▲111	83.2%	850	810	+39	104.8%
営業利益率	6.3%	7.9%	▲1.6P		5.1%	5.3%	▲0.2P	
経常利益	617	765	▲148	80.6%	980	974	+5	100.6%
経常利益率	7.0%	9.1%	▲2.1P		5.9%	6.3%	▲0.4P	
当期純利益	323	361	▲38	89.4%	506	596	▲90	84.8%
当期純利益率	3.7%	4.3%	▲0.6P		3.0%	3.9%	▲0.9P	

業績予想について

※P:ポイント

15.12Eの期初業績予想における為替レートは117円/USDを想定したものであります。



# [連結]来期の配当予想

CYBERNET

(単位:円)

	14.12	15.12E		
	合計	第2四半期末	期末	合計
	実績	予想	予想	予想
1株当たり配当額	13.80	6.90	6.90	13.80
(普通配当)	11.20	6.90	6.90	13.80
(記念配当)	2.60	—	—	—
1株当たり当期純利益	19.14	10.37	—	16.24
配当性向	72.1%	—	—	85.0%
(参考)純資産配当率	3.1%	—	—	3.0%

14.12の配当については、普通配当11円20銭（中間5円60銭、期末5円60銭）に加え、創立30周年記念配当2円60銭が含まれております。

当社は、これまでの配当方針に加えて、健全なる利益の拡大と株主の皆様への利益還元を一層重視するとともに、ROEの改善を推進していく所存であります。そのため、今後の配当につきましては、これまで指標としておりました配当性向を40%から50%へ、また純資産（株主資本）配当率を2.5%から3.0%へ引き上げた上で、これらのうちいずれか高い方を配当金額決定の参考指標とし、あわせて今後の企業価値向上に向けての中長期的な投資額を勘案した上で、総合的な判断により決定することといたします。



# 参考資料

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**

# 会社概況(2014年12月31日現在)

CYBERNET

- ◆ 名称 : サイバネットシステム株式会社 (東証第一部 4312)  
Cybernet Systems Co., Ltd.
- ◆ 本社 : 東京都千代田区神田練塀町3番地
- ◆ 拠点 : 西日本支社(大阪)、中部支社(名古屋)
- ◆ 設立 : 1985年4月17日
- ◆ 資本金 : 995百万円
- ◆ 社員数 : 連結 563名  
個別 341名
- ◆ 事業内容 : CAEソリューション及びITソリューションサービスの提供、  
各種コンサルティングの提供
- ◆ 子会社 : 連結 WATERLOO MAPLE INC. (カナダ)  
Noesis Solutions NV (ベルギー)  
CYBERNET SYSTEMS (SHANGHAI) CO., LTD. (中国)  
Sigmetrix, L. L. C. (米国)  
CYBERNET HOLDINGS CANADA, INC. (特定目的会社)  
Cybernet Systems Holdings U. S. Inc. (特定目的会社)  
CYBERNET SYSTEMS KOREA CO., LTD. (韓国)  
CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO., LTD. (台湾)

CAEとは、Computer Aided Engineeringの略で、コンピュータによる工学支援のことをいい、コンピュータ上で仮想設計し、仮想実験すること。

# [個別]業績の概況

CYBERNET

(単位:百万円)

	14.12	調整後13.12			14.12		
	実績	実績	前同差	前同比	計画	計画差	計画比
売上高	12,294	11,981	+ 312	102.6%	12,800	▲ 505	96.0%
売上総利益	5,001	4,978	+ 23	100.5%	5,293	▲ 291	94.5%
営業利益	1,136	1,049	+ 87	108.3%	1,276	▲ 139	89.1%
営業利益率	9.2%	8.8%	+ 0.4P		10.0%	▲ 0.8P	
経常利益	1,192	1,207	▲ 14	98.8%	1,293	▲ 100	92.2%
経常利益率	9.7%	10.1%	▲ 0.4P		10.1%	▲ 0.4P	
当期純利益	535	725	▲ 190	73.8%	799	▲ 264	67.0%
当期純利益率	4.4%	6.1%	▲ 1.7P		6.2%	▲ 1.8P	

※P:ポイント

# [個別]来期の業績予想

CYBERNET

(単位:百万円)

	第2四半期累計期間				通期			
	15.12E/1H	14.12/1H			15.12E	14.12		
	計画	実績	前同差	前同比	計画	実績	前同差	前同比
売上高	7,324	7,322	+1	100.0%	13,222	12,294	+927	107.5%
売上総利益	3,015	3,037	▲22	99.3%	5,456	5,001	+454	109.1%
売上総利益率	41.2%	41.5%	▲0.3P		41.3%	40.7%	+0.6P	
営業利益	952	1,107	▲155	86.0%	1,278	1,136	+141	112.5%
営業利益率	13.0%	15.1%	▲2.1P		9.7%	9.2%	+0.5P	
経常利益	971	1,163	▲192	83.5%	1,314	1,192	+121	110.2%
経常利益率	13.3%	15.9%	▲2.6P		9.9%	9.7%	+0.2P	
当期純利益	624	681	▲57	91.6%	843	535	+307	157.5%
当期純利益率	8.5%	9.3%	▲0.8P		6.4%	4.4%	+2.0P	

業績予想について

※P:ポイント

15.12Eの期初業績予想における為替レートは117円/USDを想定したものであります。

## ■ 広報室

住 所	〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3
TEL	03-5297-3066
FAX	03-5297-3609
E-MAIL	irquery@cybernet.co.jp
Webサイト	<a href="http://www.cybernet.jp/">http://www.cybernet.jp/</a>

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したものです。その安全性を保証するものではありません。また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。

記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。

投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**